

就学前		5歳		幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿		小学校		中学校			
0歳		1・2歳		3歳		4歳		5歳			
ふるさと大好き 豊かな自然 伝統文化 人との出会い	生活を通して親や祖父母などの家族の愛情を深く感じる。 ・心の拠り所としての家族の絆を深める。 ・大津町に住んでいるという意識を育む。		「社会生活とのかわり」 ・身近な地域を敬愛し、自然に親しむ。(自然との関わり・生命尊重) ・わらべ歌に親しみ、友だちと一緒に歌ったり、遊んだりする。(豊かな感性と表現) ・地域の行事に参加し、関心を持つ。(社会生活とのかわり)		健康な心と体 自立心		大津町 地域の暮らしを支えてきた産業や職種の関わりを通して、地域のよさを生み出している地域を知り、受け継いだ先人の努力や文化について理解する。 ・郷土の歴史や文化・先人の努力や文化の大切さを理解する。 ・地域の行事やボランティアに積極的に参加する。 【総合的な学習の時間】 【行事】【特別活動】		ふるさとへの誇り ・郷土の自然・文化・歴史について知り、自分のふるさとに誇りを持つ。 ・地域の文化や伝統を継承し、受け継いで生きていることを自覚し、地域の一員として自分が出られることにつながる。 ・郷土の歴史や文化の大切さを理解する。 ・地域の行事やボランティアに積極的に参加する。 【総合的な学習の時間】 【行事】【特別活動】		
	「安心感」「好奇心」 ・身近な人への基本的信頼感が育つ。 ・温かい雰囲気の中で生理的・心理的欲求を満たし心地よく過ごす。 ・安心できる環境のもと、様々なものに興味や関心を持つ。 ・身近な環境に、自ら五感豊かに関わろうとする。		「自立心」の芽生え ・全身を使った遊び、自分でしようという気持ち。 ・身の回りを清潔に保つ。 ・ゆったりとした雰囲気の中で食事や朝食を楽しむ。 ・異年齢児との遊びに参加する。 ・思いを言葉で伝えようとする。		「健康な心と体」「自立心」「道徳性・規範意識の芽生え」「思考力の芽生え」 ・決まりのあることを知り、自分の心と向き合う経験をする。 ・道徳性・規範意識の芽生え。 ・脱いだ服の始末ができる。(自立心) ・排便後の始末が自分でできるようになる。(自立心) ・食事のクレープや片付けの習慣がほほ身に付き、自分でしようとする。(健康な心と体)		自立心 自律性 ・自ら立てた目標に向かって努力する。 ・規則正しい健康的な生活を送る。 ・生活リズムを作り、規則正しい生活を送る。 ・協働を通じた課題解決活動を通して、「4つの約束(大津中)」「学習の心構え(大津北中)」を実践する。 【特別活動】【保健体育】【家庭科】等		自立心 自律性 ・生活のルールや決まりを守り、目標に向かって努力する。 ・規則正しい健康的な生活を送る。 ・自分の生活リズムに関心をもち、周りの大人と一緒に整えようとする。 【特別活動】【保健体育】【家庭科】等		自立心 自律性 ・生活のルールや決まりを守り、目標に向かって努力する。 ・規則正しい健康的な生活を送る。 ・自分の生活リズムに関心をもち、周りの大人と一緒に整えようとする。 【特別活動】【保健体育】【家庭科】等
やさしくたくましく 健康な心と体 生活リズム 自立心	「社会生活とのかわり」 ・友だちと遊ぶ、遊ぶ中で言葉や遊びを通して人に感謝される喜びを味わう。(協同性) ・先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		「社会生活とのかわり」 ・身近な大人の仕事に興味を持ち遊びに入れる。(社会生活とのかわり) ・友だちと一緒に遊びを楽しむ。(協同性) ・人の話を聞き、自分の話をしよとする。(言葉による伝え合い) ・感動したことや先生に伝え楽しむ。(言葉による伝え合い)		協同性 道徳性 規範意識の芽生え 社会生活との関わり		自立心 自律性 ・生活のルールや決まりを守り、目標に向かって努力する。 ・規則正しい健康的な生活を送る。 ・自分の生活リズムに関心をもち、周りの大人と一緒に整えようとする。 【特別活動】【保健体育】【家庭科】等		自立心 自律性 ・生活のルールや決まりを守り、目標に向かって努力する。 ・規則正しい健康的な生活を送る。 ・自分の生活リズムに関心をもち、周りの大人と一緒に整えようとする。 【特別活動】【保健体育】【家庭科】等		
	特定の大人との応答的なかわりの中で、基本的信頼感をなくくむ。 ・自我の育ちを受け止め自己肯定感をなくくむ。		「社会生活とのかわり」 ・身近な大人の仕事に興味を持ち遊びに入れる。(社会生活とのかわり) ・友だちと一緒に遊びを楽しむ。(協同性) ・人の話を聞き、自分の話をしよとする。(言葉による伝え合い) ・感動したことや先生に伝え楽しむ。(言葉による伝え合い)		思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		夢や希望 ・役立つ喜び ・自己を生かす社会と自己の関わり		夢や希望 ・役立つ喜び ・自己を生かす社会と自己の関わり		
のびのびしなやかに 夢の実現 働く喜び	「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・人として尊重されることで自尊感情の基礎を育む。 ・保護者や友だちと触れ合い、安心して過ごす。 ・自分の名前が言えたり、挨拶や返事ができたりするようになる。		「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・友達や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・友達と遊びやクレープ作りを楽しむ。(協同性) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		
	人として尊重されることで自尊感情の基礎を育む。 ・保護者や友だちと触れ合い、安心して過ごす。 ・自分の名前が言えたり、挨拶や返事ができたりするようになる。		「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・友達や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・友達と遊びやクレープ作りを楽しむ。(協同性) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		
みんな友だち ころ豊かに 認め合い とともに伸びる	「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・友達や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・友達と遊びやクレープ作りを楽しむ。(協同性) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・友達や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・友達と遊びやクレープ作りを楽しむ。(協同性) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		
	人として尊重されることで自尊感情の基礎を育む。 ・保護者や友だちと触れ合い、安心して過ごす。 ・自分の名前が言えたり、挨拶や返事ができたりするようになる。		「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「自立心」「言葉による伝え合い」 ・友達や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(協同性) ・自分の思いを言葉で表現する中で、受け入れられる喜びを味わう。(言葉による伝え合い) ・友達と遊びやクレープ作りを楽しむ。(協同性) ・簡単な決まりを守って遊ぶ中で、仲間意識の芽生え。(協同性と規範意識)		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		友だちと協力 ・関わり合い ・役割の中で待ち味発揮		

大津町幼・保等、小、中連携推進協議会

大津町のすべての園とすべての小学校をつなげよう

大津町幼小接続期カリキュラム

令和3年2月
大津町教育委員会

発行：熊本県大津町教育委員会／企画・編集：教育部 子育て支援課
 〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津1233 Tel:096-293-5981 Fax:096-293-0474
 イラスト：中村 里美さん(大津町在住)

「学び」のスタートは幼児期です

遊び・生活で培う「幼児教育」と学習する「小学校教育」

幼児教育とは

「環境を通して行う教育」を基本とし、幼児の自発的な活動としての遊びを中心とした生活を通して、一人ひとりに応じた総合的な指導を行います。

近年、国際的にも自尊心や忍耐力、自己制御といった社会情動的スキルやいわゆる非認知的能力といったものを幼児期に身に付けることが、大人になってからの生活に大きな差を生じさせるということが研究から明らかになってきました。こうした流れを受けて、すべての子どもが健やかに成長することができるよう、質の高い幼児教育を提供することが一層求められています。

幼児教育から小学校教育へ

現在、幼児教育と小学校教育との接続については、次のようなことが指摘されています。

- 幼児教育と小学校教育との接続では、子ども同士や保育者・小学校教諭の交流は進んでいるものの、カリキュラムの接続が十分とはいえない状況がある。
- 遊びや生活を中心とする幼児教育と、教科等の学習を中心とする小学校教育とでは、教育の内容や方法が異なるため、それが大きな段差となって、スムーズに適応できない児童がいる。

こうした状況の中、幼児教育と小学校教育における教育内容や方法を十分理解した上で、保育者は「今の学びがどのように育っていくのか」を、小学校教諭は「今の学びがどのように育ってきたのか」を見通した全体的な計画(教育課程を含む)及び教育課程の編成・実施が求められます。

その際、保育者や小学校教諭は、それぞれ発達段階を踏まえて保育・教育を充実させることが重要であり、一方が他方に合わせるものではないことに留意する必要があります。

幼児期 学びの芽生え

幼児教育

- 5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に学んでいく教育課程等
- 子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ
- 身の回りの「人・もの・こと」が教材
- 総合的に学んでいくために工夫された環境の構成など

児童期 自覚的な学び

小学校教育

- 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- 時間割に沿った1日の流れ
- 教科書が主たる教材
- 系統的に学ぶために工夫された学習環境

など

なぜ、接続期カリキュラム？

子どもが、安心して小学校での生活をスタートできます

接続期カリキュラムとは

接続期カリキュラムとは、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るために作られるカリキュラムのことです。小学校に向かう時期(3学期)の教育課程「アプローチカリキュラム」と、幼児教育との円滑な接続を意識した小学校入学時の教育課程「スタートカリキュラム」を合わせ、幼児期と児童期の「学び」をつなぎます。

「アプローチカリキュラム」

就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、遊びや生活から得た経験を生かして小学校の学習や生活に意欲的に取り組んでいけるように工夫された保育所、幼稚園、認定こども園等における年長児中心のカリキュラム(保育計画、教育課程)

「スタートカリキュラム」

幼稚園、保育所、認定こども園等から小学校へ入学した子どもたちが、幼児期の遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出し、円滑に移行していくための1年生中心のカリキュラム(教育課程)

大津町の接続期カリキュラム

各園、小学校において「アプローチカリキュラム」、「スタートカリキュラム」に基づく教育・保育活動を実施しています。

さらに円滑な接続を推進するため「大津町幼小接続期カリキュラム」を作成しました。就学へのアプローチ期を1月から3月まで、小学校教育のスタート期を入学後の4月から7月までと設定し、活動内容等を同時に示しています。相互に内容等を理解し、見通しをもって教育・保育活動を行い、幼児教育と小学校教育の円滑な接続につなげます。

実践のポイント

■反省・検証・改善しよう

接続期カリキュラムは、保育や教育の成果と課題を引き継ぎ、改善を重ねながら、より円滑な幼小の接続となるようにしていくことが大切です。ねらいや学びの連続性について、保育者や小学校教諭などが情報交換や意見交換を行い、保育計画や教育課程に反映させながら、取り組みを進めましょう。









■園や学校全体で取り組もう

園長や校長のリーダーシップの下、担任だけでなく、全職員が協力することで、効果的に行うことができます。チームで応援する体制があると、担任にとっては心のゆとりを生むことにもつながります。

■保護者との連携も大切です

接続期においては、接続期カリキュラムの作成と実践のほかにも、保護者との連携も大切です。幼児期と学童期の発達の特徴や教育内容等について、保護者に伝え、理解を促すことで、保護者が将来の子どもの姿をイメージしながら関わるができるようにするとともに、保護者同士のネットワークづくりにも配慮します。

大津町幼小接続期カリキュラム

幼稚園・保育所等 アプローチ期(年長 1月～3月)		小学校スタート期(小学校1年生 4月～7月)					教科等	
領域	ねらい	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	4月 スタートカリキュラム	5月	6月	7月		
健康	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と協力しながら早寝、早起きの習慣を身につける(22時前までに就寝) 手洗い、うがい、衣服の着脱などの習慣を身につける 活動の区切りや、時間を意識して行動する 食事のマナーを守って楽しく食べる(時間内に食べる、箸を正しく持つ、よく噛む、正しい姿勢で食べる、皿を手に持つ、好き嫌いをしない等) 交通のきまりを守る(横断歩道の渡り方、飛び出さない等) 防災、防犯の意識をもつ(「おはしも」、「いかのおすし」) きまりの必要性を理解し、約束を守って行動する 	 健康な心と体  自立心  協同性  道徳性 規範意識の芽生え	スタートカリキュラム 各週のねらい(例) 第1週:学校生活に必要なことを少しずつ覚えながら安心して楽しく過ごす。 第2週:友達と一緒に活動することに関心を持ち、友達と遊んだり学習に取り組んだりする。 第3週:学校での学習やみんなまで過ごすことに関心を持って、活動に意欲的に取り組む。 1日を安心して、楽しくスタート 幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動を位置付ける(園で読んでいた絵本等) 生活科を中心とした 総合的・関連的な単元構成 生活科「がっこうだいすき」を中心に学活、道徳、国語等、つながりのある他教科等のねらいを考えながら総合的・関連的な指導を行う。 新しい友達と交流ができる学習活動 「自己紹介」「学校探検」「歌っておどろろ」等、新しい友達と交流ができる学習活動に取り組ませる。 ゆったり2時間続きの学習活動 生活科「学校探検」、国語・書写「字を書こう」等、ゆったりとした時間の中で思いや願いの実現に向けた学習活動に取り組ませる。 15分程度の短い時間を 弾力的に活用した学習活動 児童の実態や学びの特徴を踏まえ15分程度の時間で時間割を構成する。 直接体験を通じた学習活動 幼児期の生活や遊びの中で体験してきたことと関連させた直接体験を通じた学習活動に取り組ませる。(校庭での遊び方、給食・掃除の仕方等) スタートカリキュラムにおいて、総合的・関連的な指導も含め、子どもの生活の流れの中で、幼児期に育まれた姿が発揮できるように工夫を行う。 幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなぐ。	がっこうだいすき 学校のことがしりたいな ・学校の1日 ・教室や道具の使い方 みんなとなかよくなりたいたい ・校庭での遊び方 友だちと学校を探検しよう	学校にいる人と仲良くなる ・学校の先生の仕事を みつけたことを伝えよう ・絵や言葉で、友達と伝えよう みんなで通学路がある ・通学路の交通ルールを知る	きれいにさいてね 種をまこう ・朝顔の種の観察、種まき 世話をしよう 花の様子を伝えよう ・成長の様子の観察 ※たねをとろうは10月	なつがやってきた 校庭で草花や虫をさがそう みんなの公園であそぼう ・公園の使い方、自然の様子 水で遊ぼう ・水を使った遊びを楽しむ たのしかったことをつたえよう	生活
				共通の目的に向かって、友だちと分担したり、協力したりする(ごっこ遊び、サッカー、ドッジボール等) ・いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ ・地域の人たちと交流をする ・お世話になった身近な人への感謝の気持ちをもつ(保護者、先生、在園児等)	社会生活との関わり 	がっこうだいすき (学校・集団生活) ・学校の生活場面を描いた絵を通して、学校生活を楽しもうとする心情を育てる きもちのよいせいかつ (節度・節制)	あかあいあいさつ (礼儀) なかよくね (友情・信頼)	よいこととわるいこと(善悪・自律・自由と責任) みんなじょうず(個性の伸長) みんないきてる(生命の尊さ) かぼちゃのつる(節度・節制)
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、文字や標識に興味、関心をもつ(絵本を読む、自分の名前がわかる、身近にあるマークや標識を知る等) 生活や遊びの中で数えたり、比べたり、組み合わせたりして数量や図形などに興味、関心をもつ(すごろく、パズル等) 飼育、栽培を通して命の尊さを感じる(チューリップ、野菜、金魚、メダカ等) 自然に触れ親しみ、その美しさや不思議さを味わう 	思考力の芽生え 	自然との関わり・生命尊重 	はじめよう ・言葉のリズムを楽しむ よろしくね/つながることば/こえをとどけよう ・挨拶や自己紹介 えんぴつをつかうときにたしかめよう/かいてみよう ・姿勢や鉛筆の持ち方、ひらがな「つ」「く」「へ」「い」「こ」 あいうえおのうた/あいうえおのことばをあつめよう/ほんがたくさん ・口形に気をつけた音読 ・読み聞かせ	あめですよ ・絵と言葉を結び付けて、様子を思い浮かべて音読する 「や」のつく字/文をつくらう ・「清音」「濁音」「半濁音」 みんなにはなそう ・相手に聞こえるように話す さとうとしお/とんとことん ・話の内容の大体を捉える ・話の場面を想像しながら音読を楽しむ 「は」「を」「へ」の使い方	きいてつたえよう ・大事なことを落とさず聞くことばあそび ・しりとりやことばみつけ あひるのあくび/のぼすおん/ちいさいやゆよ ・五十音を音読 ・長音、拗音等の表記 どうやってみまもるのかな ・説明の順序、重要な語や文に気付く こんなことしたよ 経験したことを伝える	おおきなかぶ ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に総合しながら物語を読む かぞえうた ・漢数字を読んだり書いたりする えにっきをかこう ・経験したことを文章に書く としよかんはどんなところ ・学校図書館を利用して読書に親しむ	国語
				数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 	うたっておどってなかよくなる うたってなかよし/セブンスステップス/チッチェッコリ(共)/ひらいたひらいた	はくをかんじとろう さんぼ/じゃんけんぼん/なまえあそび/フルーツランド/みんなであそぼう	はくによってリズムをうたう しろくまのジェンカ(共)/かたつむり/ぶんぶんぶん/ことばでリズム	みのまわりのおとにみみをすまそう おとをさがしてあそぼう うみ(共)
環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、文字や標識に興味、関心をもつ(絵本を読む、自分の名前がわかる、身近にあるマークや標識を知る等) 生活や遊びの中で数えたり、比べたり、組み合わせたりして数量や図形などに興味、関心をもつ(すごろく、パズル等) 飼育、栽培を通して命の尊さを感じる(チューリップ、野菜、金魚、メダカ等) 自然に触れ親しみ、その美しさや不思議さを味わう 	豊かな感性と表現 	スタートカリキュラムにおいて、総合的・関連的な指導も含め、子どもの生活の流れの中で、幼児期に育まれた姿が発揮できるように工夫を行う。 幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなぐ。	すきなかたちやいろななにかききたいものな ・色々な形や色を基に、表現したいことを見付け、表現する(クレヨン・クレパス、ペンなど)	チョコキョキかざり ・紙を使った形づくり(折り紙、色紙、はさみ、のりなど) すなやつちとなかよし ・砂や土、粘土の感触を味わい、作ることを楽しむ	ひもひもねんど ・粘土を紐状にしながら立体的に表す みてみてあのね ・生活の中を思い浮かべながら楽しく絵に表す	おってたたら ・紙を折って立てて表すことを楽しむ	図工
				言葉による伝え合い 	体ほぐしの運動遊び ・ペアでストレッチ、だるまさんが転んだ、増やし鬼、じゃんけん列車等	固定施設遊び 鉄棒、登り棒、ジャングルジム等 かげっこ くねくねコース、ぐるぐるコース	鬼遊び 手つなぎおに、しっぽ取りおに等 多様な動きをつくる運動遊び バランス、用具を使った動き	水遊び 水につかって遊ぶ、水に潜ったり浮いたりして遊ぶ
幼児教育	幼児期 学びの芽生え <ul style="list-style-type: none"> 5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に学んでいく教育課程等 子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ 身の回りの「人・もの・こと」が教材 総合的に学んでいくために工夫された環境の構成 	など	円滑な接続	児童期 自覚的な学び <ul style="list-style-type: none"> 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程 時間割に沿った1時間の流れ 教科書が主たる教材 系統的に学ぶために工夫された学習環境 	など	小学校教育		

「学び」と「育ち」をつなごう！

幼稚園・保育所・認定こども園から中学校までつながる取り組み

大津町の取り組み

大津町では、幼児期から培った力を中学校までつなげ伸ばすため、町内の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、大津町教育委員会が協働し、「大津町幼・保等、小、中連携推進協議会」で取り組みを進めています。

目標をつなぐ

幼稚園・保育所等から小学校、中学校までの目標をつないだ連携カリキュラム(教育課程)を改定しました。保育者、教諭が意見を出し合うことで、現実に即した内容となりました。



お互いを理解する

幼児教育・保育、小学校教育等お互いの教育内容を理解するために、相互の保育・授業参観を行っています。



幼・保等・小中合同研修

町内の保育者、教諭が参加する合同研修を実施しています。



交流活動

小学校単位で幼児と児童の「交流活動」を実施しています。



連携した取り組み①

大津中学校校区では、幼・保等、小、中連携連絡会を開催し「つなぐ」をテーマに連携の目的・取り組み等について話し合いました。「ワールド・カフェ」形式で、参加者は相互理解を深めました。

(令和2年7月20日実施)



連携した取り組み②

大津北中学校校区では、親子共通の話題づくり等を目的に「親子リレー読書」に取り組みました。校区の幼・保等、小、中が連携し、保護者を巻き込んだ心温まる取り組みとなり好評でした。

(令和2年度実施)



年長児と小学5年生の「プール交流」

連携カリキュラムを使った交流実践

交流の流れ

交流に当たっては、年度当初に双方で話し合い「年間計画」をたてること、交流実施の際の「事前打合せ・交流・評価」が大切です。

大津町立陣内幼稚園（5歳児）と大津町立大津南小学校（5年生）の連携カリキュラムを使った交流をご紹介します。（実施日：令和2年7月28日）

①事前打合せ

担任同士の打ち合わせで「ねらい」を明確にする。
（連携カリキュラムを活用）

5歳児 「決まり」の必要性を理解して決まりを守ろうとする。

5年生 「自ら立てた目標に向かって努力する」
「役立つ喜び」「自己を生かす」

ねらい

プールでの約束事を守りながら、
お互いが楽しく遊ぶ。

連携カリキュラム

5歳児

・「決まり」の必要性を理解して決まりを守ろうとする。
（道徳心・規範意識の芽生え）

小学校・高学年

自立心・自律性

・自ら立てた目標に向かって努力する。

夢や希望

・役立つ喜び
・自己を生かす
・社会と自己の関り

②交流（当日）

- ・5年生が5歳児に、「プールでの約束事」を絵と言葉を使って説明。
- ・お互い自己紹介。
- ・プールに入って交流。

③評価・反省（後日）

- ・「プールでの約束事」を絵と言葉で小学生が伝えたので、園児にとって分かりやすかった。また、支援が必要な園児にも有効だった。
- ・日頃から交流のある小学生が約束を伝えてくれたので、園児も真剣に聞くことができた。
- ・小学生にとって、役立つ喜びを感じる事ができるいい機会だった。
- ・今後の課題は、新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、子ども自身が内容を考えることで、学びが深まり、自主性も育つのではないか。

